

第10章 公益財団法人群馬県スポーツ協会

I 生涯スポーツの推進に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図った。

ア) 生涯スポーツ巡回指導

市町村・各教育委員会等へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等のニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣した。

○健康スポーツ指導者バンク登録者	117人		
○巡回スポーツ指導	県内各地	68会場	79人
○健康スポーツ指導者指導実績	県内各地	8,928件	162,903人

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、18歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間（理論8時間・実技16時間）のカリキュラムで講習会を開催し資質向上を図った。

期 日 令和元年11月30日（土）・12月 1日（日）、 7日（土）・ 8日（日）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
参加者数 53人（内、新規取得希望者4人）

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催した。

期 日 令和元年 7月 6日（土）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
参加者数 49人

(2) 生涯スポーツ普及事業

健康・体力づくりスポーツ指導者及びスポーツ愛好者、生涯スポーツ関係団体を対象に楽しめるニュースポーツを紹介するとともに、生涯スポーツ関係組織との連携、強化を図り、生涯スポーツの普及・推進を図った。

ア) 生涯スポーツ講習会

期 日 令和元年 9月 1日（日）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
参加者数 61人

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、県民が日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進するため、また、全市町村に少なくとも一つはクラブを育成するという目標に未育成町村解消に向けて実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、地域の実情を把握するため現地に出向いてヒアリング等を行った。

ア) 総合型地域スポーツクラブ支援事業

県内の総合型地域スポーツクラブの円滑な活動及び設立に向けた取り組みの活性化を図ることを目的とした群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である生涯スポーツの推進に寄与することに繋がると考えることからその運営に対し支援・連携をした。

○現地ヒアリング実績：9市町村

○県内総合型スポーツクラブ育成状況：クラブ数 25市町村 39クラブ
育成率 71.4% (25/35市町村)

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) スポーツ体験事業

本県スポーツ人口の底辺拡大を図るため、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快感、楽しさを味わってもらうための教室を開催した。

ア) チャレンジスポーツ教室

・加盟競技団体 14団体、加盟地域団体 4団体 参加人数 1,487人

イ) プロスポーツ選手等との交流教室（渡部絵美スケート教室）

期 日 令和 2年 2月15日（土）

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 41人

(2) 教室・公開講座開催事業

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間との交流の輪を広げることを目的に施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催した。

ア) テニス公開講座

期 日 平成31年 4月17日～令和元年11月13日（水曜日 計17回） 9：30～11：30

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター テニスコート

参加者数 802人

イ) 初心者アイススケート教室

期 日 第1回目 令和元年12月17日（火）～20日（金）

第2回目 平成 2年 1月21日（火）～24日（金） 各4日間

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 第1回 83人、第2回 76人

ウ) エンジョイ健康教室

期 日 前期 平成31年 4月12日（金）～令和元年 7月19日（金） 41回

中期 令和元年 9月 4日（水）～ 11月29日（金） 44回

後期 令和元年 12月 4日（水）～令和 2年 2月28日（金） 35回

水曜日・金曜日の午前と午後 計120回

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ

参加者数 1,891人

エ) 伊香保リンク初心者スケート公開講座

期 日 第1回目 令和 2年 1月12日（日）

第2回目 令和 2年 1月25日（土）

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク

参加者数 第1回 14人、第2回 14人 計28人

(3) 総合スポーツセンター管理運営事業

利用者の立場に立ち、生涯スポーツの推進、県民体力の保持増進、競技力向上を目指し、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県ぐんまの実現に向けて、多種・多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供するための、管理運営を実行した。また、この施設の設置目的を達成するため、管理運営上の基本方針、環境保護策等を的確に把握し、県内唯一のスポーツ団体として、いかなる社会状況下に置いても、県民へのサービス向上を第一に、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

ALSOK総合スポーツセンター、本館、ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリー

ナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、スポーツ資料館、その他の付属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、大規模なスポーツイベント等の受け入れや実施事業を積極的に行い、効果的な施設の活用を図った。

○大規模大会の利用状況 (53大会)

利用日	大規模大会	利用者数
4月 5日	平成31年度群馬大学入学式	1,800人
6日～ 7日	ユネスコ杯ドッジボール選手権国際親善大会	1,670人
7日	全国有望新人発掘合宿関東ブロック選考会	330人
28日	関東甲信越前期競技ボールルームダンス大会	1,250人
29日	県空手道連盟第18回空手道フェスティバル	550人
5月 3日～ 5日	第1回月刊バスケットボールカップミニバス	750人
4日～ 5日	育柔杯争奪少年柔道大会	1,800人
6日	第30回県スポーツ少年団空手道交流大会県予選	1,500人
6日	県剣道連盟 全国道場少年剣道大会県予選	1,400人
10日～25日	県高校総合体育大会各種競技会	6,430人
6月 1日～ 2日	第67回関東高等学校柔道大会	2,000人
7日～10日	第67回関東高等学校テニス大会	1,300人
22日	スーパーキッズ認定式	500人
23日	第36回全日本総合エアロビック選手権大会	250人
7月 5日～ 7日	関東信越地区高等専門学校体育大会 (テニス競技)	150人
15日	第40回中学生空手道選手権大会	1,000人
26日～28日	第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	1,370人
29日	平成31年度県中学校総合体育大会開会式	350人
29日～30日	平成31年度県中学校総合体育大会各種競技会	4,160人
8月 6日	第44回関東中学校軟式野球大会開会式	700人
14日～15日	令和元年度群馬県戦没者追悼式	1,800人
17日～20日	第4回月刊バスケットボールU-15CUP	1,900人
25日	第22回県小学生バンドフェスティバル	3,400人
31日	第34回富士スバルカップミニバスケットボール大会	1,300人
9月 4日～ 5日	県民スポーツ祭G・Gペア交流大会	2,200人
7日	第47回群馬県レクリエーション大会	100人
16日	県マーチングバンド・バトントワリングフェスタ	1,840人
19日	国民体育大会結団式	540人
10月 5日～ 6日	第30回群馬県私立大学スポーツ大会	1,300人
11日～13日	東日本学生フィギュアスケート選手権大会	250人
20日	関東甲信越競技ダンス大会大会	780人
24日	ぐんまねりんピック2019	200人
26日～27日	第21回上毛新聞社旗争奪高校剣道大会	1,600人
11月 2日・30日	ぐんまオープンジュニアトーナメント	940人
10日	第57回群馬県県民体育大会秋季大会	2,000人
16日	第6回ぐんま武道フェスティバル	650人
16日	県アイスホッケー連盟会長杯ちびっ子大会	170人
23日～24日	県スポーツ協会わくわく運動プロジェクト	2,000人
30日～ 1日	第9回関東アンダージュニアボクシング大会	180人
12月 1日～15日	ぐんまオープンジュニアトーナメント	1,160人
7日	県オープンドッジボール選手権2019	1,300人
7日～ 8日	国体冬季大会フィギュアスケート競技予選会	200人

21日～25日	第38回全国高等学校弓道選抜大会	250人
1月18日～19日	ぐんま野球フェスタ2020	1,720人
11日～12日	県中体連ソフトテニス部関東中学校インドア大会	460人
13日	県空手道連盟第43回県小学生総体	1,170人
25日～26日	県バスケットボール協会中学生都市選抜交流大会	900人
2月 8日～ 9日	東日本少年柔道大会	1,950人
9日	第21回県マーチングバトンスプリング	870人
11日	第40回群馬県なわとび競技大会	4,000人
15日	第73回上毛かるた競技県大会	900人
16日	第30回東日本如月剣道大会	3,000人

※令和 2年 3月 3日から 3月31日の期間は新型コロナウイルス感染拡大防止による閉館のため全館臨時休館

・利用者数

令和元年度利用者数は、ぐんまアリーナ283,894人、ぐんま武道館372,571人、サブアリーナ136,212人、本館39,134人、アイスアリーナ29,206人、テニスコート（会議室を含む）115,466人、ふれあいグラウンド54,835人、宿泊室3,015人、仮設アーチェリー場1,557人の合計1,035,890人であった。

月別等の内訳は別表のとおりである。

ウ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課の協力のもと、下記工事を実施した。

工 事 名
・ぐんまアリーナ排煙窓修繕工事
・業務用冷凍庫廃棄
・案内標識更新工事
・アイスアリーナ浄化槽設備修繕工事
・テニスコート人工芝修繕工事
・宿泊棟厨房の冷蔵庫の購入
・アーチェリータイマー購入
・ぐんまアリーナ空調設備修繕工事
・ぐんまアリーナ階段室屋上防水更新工事
・ぐんまアリーナボイラー修繕工事

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を利用料金収入として計上した。

令和元年度の利用料金収入は60,235,220円であり、内訳は別表のとおりである。

オ) ALSOKぐんま総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター施設の無料開放を次のとおり実施した。

①アイスアリーナ以外の施設

・県民スポーツの日（毎月10日）	利用者数	8,729人
・県民の日（10月28日）	利用者数	1,502人

②アイスアリーナ

・開館初日（10月 1日）	利用者数	107人
---------------	------	------

- ・ 県民の日 (10月28日) 利用者数 640人
- ・ 開館期間中の毎月第2・第4土曜日 (小中学生対象) 利用者数 1,224人

カ) 季刊誌の発刊

当施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに作成し、利用者や来館者に対して施設の利用方法や大会予定、各種教室の紹介等を行った。

- ・ 発行部数 NO.33号～No.36号 各号 4,000部

(4) 県総合スポーツセンター伊香保リンク管理運営

伊香保リンクの「設置目的(県民の体力増進・スケート及びアイスホッケーの競技力向上並びに普及振興を図り、スポーツだけでなく、地域の活性化に不可欠な施設)」を最大限に発揮できるよう、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター伊香保リンク、屋外400mリンク、屋内第1リンク、屋内第2リンク、リンクハウス、審判棟、管理棟、競技運営棟

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、伊香保リンクを地域活性化の資源とすべく県、渋川市等の関係団体と積極的に連携してイベント等を実施するなど効果的な施設の活用を図った。

○施設の使用期間

- 屋内第1リンク 平成31年 4月 2日(火)～平成31年 4月21日(日)(延長営業)
令和元年 9月 1日(日)～令和2年 3月 1日(日)
- 屋内第2リンク 令和元年10月 1日(火)～令和2年 2月29日(土)
- 屋外リンク 令和元年11月 1日(金)～令和2年 2月29日(土)

○施設の営業時間

午前9時から午後10時まで

○大規模大会の利用状況(6大会)

利用日	大規模大会名	利用者数
11月 2日～ 3日	伊香保カップ2019アイスホッケー大会	2,630人
11月29日～12月 1日	全日本学生スピードスケート選手権大会	2,550人
12月 6日～ 8日	第75回国民体育大会関東ブロック大会アイスホッケー競技	4,850人
1月17日～19日	全日本マスターズスピードスケート選手権大会	856人
2月15日～16日	令和元年度関東高等学校スケート大会	300人
2月23日～24日	群馬少年親善アイスホッケー大会(低学年)	2,470人

ウ) 利用者数

令和元年度利用者数は、屋内第1リンクは11,699人、屋内第2リンク15,829人、屋外リンク11,946人、個人利用8,164人、リンクハウス6,039人の合計53,677人であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため営業終了を早めた影響で、令和元年度の目標であった6万人を達成することができなかった。

なお、月別等の内訳は群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク利用者数(別表)のとおりである。

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を県へ納付した。

令和元年度の県へ納付した額は15,553,020円であり、内訳は別表のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター伊香保リンク施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター伊香保リンクの無料開放を次のとおり実施した。

実施日 県民の日(10月28日)

場 所 屋内第一リンク

利用者数 138人

カ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課との連携のもと、利用者目線を中心とした下記工事を実施した。

工 事 名
・屋外リンク出入口及び地下通路手すり設置工事
・屋外リンク地下ピットコンクリート亀裂修復工事
・管理棟ボイラー排気筒修理
・屋内リンクフェンス修繕
・厨房系パコティンヒーター整備
・消火栓配管更新工事
・浄化槽更新工事
・消防設備修繕
・高圧コンデンサー交換工事

キ) 広報活動

伊香保リンクの一般開放日拡大に伴い、一般の方に広く周知するため渋川市及び渋川伊香保温泉観光協会等と連携した広報活動を次のとおり実施した。

①群馬デスティネーションキャンペーン全国販売促進会議にて展示ブース出展

期 日 令和元年 5月14日(火)

会 場 ヤマダグリーンドーム前橋

群馬デスティネーションキャンペーン(以下、群馬DC)の開催1年前に全国の旅行会社や旅行関係メディアの方々を招いて行われる群馬DC全国販売促進会議にて展示ブースを出展して伊香保リンクのPRを行った。

②チラシ等の配布

伊香保リンクのチラシ15,000枚、ポスター100枚、のぼり旗50枚を作成し伊香保温泉の各旅館及び観光、公共施設に設置をした。

さらに、伊香保リンクは地域の観光資源であることから、訪日外国客(インバウンド)を増やすため英語、台湾語のチラシも作成した。

また、施設の紹介や料金体系がわかるパンフレットも3,000部作成して、関東の大学スケート部へ送付し合宿の誘致を図った。

③ホームページによる情報発信

伊香保リンクの施設紹介動画を作成するなど利用者に必要な情報を積極的に

発信した。

その結果、閲覧数は19,485件となった。

④デジタルサイネージ広告

大規模商業施設3箇所に一ヶ月間CM放映を実施した。

⑤のぼり旗の設置

伊香保の石段街や渋川伊香保温泉観光協会周辺、さらにロープウェイ等に伊香保リンクののぼり旗を設置し周知を図った。また、相乗効果を発揮するため前橋のアイスアリーナへも設置をした。

⑥伊香保リンクニュースの発行

伊香保温泉旅館や周辺観光施設などに伊香保リンクのタイムリーな情報を発信するため、「伊香保リンクニュース」作成した。

発行日： 4月18日、 4月25日、 5月30日、 8月 1日、 8月22日、 8月30日、
10月11日、11月 1日、11月 9日、11月28日、12月 5日、12月22日、
12月29日、 2月15日、 2月29日、 3月25日

ク) 伊香保リンクを活用した地域活性化促進事業

伊香保リンクを積極的にPRするとともに、地域活性化の資源とするべく県、渋川市、関係団体が協働して次の事業を実施した。

①群馬DCプレキャンペーン記念無料滑走イベント

期 日 平成31年 4月20日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク、リンクハウス

参加者数 194人

②スポーツふれいらんど伊香保リンク

期 日 平成31年 4月27日、令和元年 5月 1日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋外リンク

参加者数 206人

③星空観察会（渋川市主催）

期 日 令和元年 6月 1日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク リンクハウス、屋外リンク

参加者数 60人

④アクティビティー無料体験イベント（渋川市への委託事業）

期 日 令和元年 8月 2日、3日、9日、10日、16日、17日、22日、23日、24日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋外リンク、リンクハウス

参加者数 1,374人

⑤JAFオートテストin伊香保リンク（渋川市への委託事業）

期 日 令和元年 9月 1日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 第2駐車場

時 間 午前 9時から午後 3時まで

参加台数 MTクラス 5台、EXクラス 4台、ATクラス 4台

⑥初心者スケート教室（渋川市への委託事業）

期 日 令和元年10月 5日、19日、26日、11月2日、9日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク

参加者数 292人

- ⑦初心者アイスホッケー教室（渋川市への委託事業）
期 日 令和元年10月 6日、14日、20日、27日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク
参加者数 103人
- ⑧伊香保リンクまつりグランドオープンイベント
期 日 令和元年11月10日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク、屋外リンク
参加者数 265人
- ⑨伊香保リンクまつり（渋川市への委託事業）
期 日 令和元年12月28日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク、屋外リンク
参加者数 2,500人
- ⑩伊香保リンク新年大大大抽選会
期 日 令和2年 1月 4日、25日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク リンクハウス
参加者数 289人
- ⑪特別スケート指導イベントin伊香保リンク（渋川市への委託事業）
期 日 令和2年 2月 8日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋外リンク
特別講師 岡崎朋美氏（長野五輪スピードスケート 銅メダリスト）
参加者数 150人
- ⑫伊香保リンク感謝DAY
期 日 令和2年 2月29日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク、屋外リンク
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

（5）スポーツ情報提供事業

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する情報を本協会ホームページ及び刊行物等で発信することにより、スポーツ活動に対する理解やスポーツへの興味関心を高め、県民により多くのスポーツの機会を提供した。

ア) ホームページの運営

本協会の組織や各種事業の紹介、また国民体育大会やスポーツ少年団各種大会等の結果を掲載したり、各種スポーツ教室等の開催要項や県総合スポーツセンター各施設の利用情報を掲載するなど広く県民にスポーツの情報を発信した。

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」、「年報」を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布した。

- | | | |
|----------------------------|-------|------|
| ①「ぐんまのスポーツ」事業紹介・各種大会の結果等 | （年2回） | 650部 |
| ②「年報」毎年の事業記録、事業報告や研究調査の成果等 | （年1回） | 600部 |

ウ) スポーツライブラリー

ALSOKぐんま総合スポーツセンタースポーツ資料館内にスポーツ情報提供コーナーを設置し、スポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを行った。

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

(1) 青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や想像性など、生きるうえで基本となる豊かな情操を養う。

また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的に下記事業を実施した。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体させるとともに、団員相互の親睦を図り、少年スポーツの健全な発展を目的とし下記大会を実施した。

○第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会

期 日 令和元年 5月 4日 (土)～ 6月23日 (日)

実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・
バドミントン 計 5競技

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 1,894人

○第55回群馬県スポーツ少年団大会

期 日 令和元年 7月27日 (土)・ 8月 3日 (土)・ 4日 (日)・ 11日 (日)

実施種目 サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール・
卓球・柔道・剣道・レスリング 計8競技

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 4,630人

○群馬県スポーツ少年団競技別交流大会

期 日 令和元年 5月26日 (日)～令和 2年 3月15日 (日)

実施種目 軟式野球・バレーボール・バドミントン・ソフトテニス・
ソフトボール・柔道・スケート・スキー 計 8競技

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 4,340人

※令和 2年 3月 1日 (日)に予定していた柔道、令和 2年 3月 7日 (土)・ 8日 (日)に予定していたスキークロスカントリー、令和 2年 3月14日 (土)・ 15日 (日)に予定していたスキーアルペンについては、新型コロナウイルス等感染症予防のため中止とした。

○第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

団員にスポーツの楽しさを体験する機会を提供するとともに、団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図る。

期 日 令和元年 7月26日 (金)～ 7月28日 (日)

実施種目 軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール
・バドミントン・空手道 計5競技

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターほか 計5会場

参加数 1都7県 970人

○スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期 日	会場及び競技	参加者数
関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	令和元年 7月26日 (金) ～28日 (日)	群馬県	157人

全国スポーツ少年大会	令和元年 8月 1日 (木) ～ 4日 (日)	長崎県佐世保市	8人
関東ブロックスポーツ少年大会	令和元年 8月23日 (金) ～25日 (日)	千葉県鴨川市	6人
全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	令和 2年 3月27日 (金) ～30日 (月)	岐阜県 バレーボール	—
全国スポーツ少年団剣道交流大会	令和 2年 3月27日 (金) ～29日 (日)	長野県 剣道	—

※全国スポーツ少年団バレーボール交流大会・剣道交流大会については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止。

イ) スポーツ少年団顕彰

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位団及び登録指導者を表彰した。また、顕著な功績のあった者へ感謝状を贈呈した。

○功労者・優良単位団表彰式

期 日 令和 2年 2月11日 (火・祝)
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
受賞者人数 群馬県表彰 優良単位団 25団体 功労者 47人
日本本部表彰 市町村表彰 1市2町 功労者 4人

ウ) スポーツ少年団指導者養成等事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会を開催した。地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダースクールを開催した。

事業名		期日及び会場	参加者数
講 習 会 ・ 研 修 会	育成母集団研修会	令和元年 7月27日 (土) みどり市	31人
	ジュニア・リーダースクール	令和元年 9月14日 (土)～16日 (月・祝) 国立赤城青少年交流の家	33人
	認定員養成講習会 (兼スポーツリーダー養成 講習会)	令和元年 8月 3日 (土)～ 4日 (日) 高崎健康福祉大学	183人
		令和元年 8月24日 (土)～25日 (日) 高崎健康福祉大学	205人
認定員再研修会 (兼 指導者研究大会)	令和元年11月17日 (日) ALSOKぐんま総合スポーツセンター	88人	

エ) スポーツ少年団フェスティバル

交歓・ゲーム活動を通して、団員相互の交流を図り、青少年のこころとからだを育てるとともに、それぞれの少年団や地域において活躍のできる中学生・高校生リーダーの育成を図った。

期 日 令和 2年 2月11日 (火・祝)
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
参加者数 495人

オ) 日独スポーツ少年団同時交流事業

両国間の優れた青少年指導者・団員が、同期間に同人数を相互に交換（派遣・受入）する同時交流を行い、スポーツ活動や民泊を取り入れ相互の文化・生活習慣を実際に体験することで、相手の国や文化を理解することや共通テーマに基づくディスカッション等により交流を深め、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、日独両国の交流事業を実施した。

期 日 派遣：令和元年 7月31日（水）～ 8月17日（土）

派遣人数 0人

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業

スポーツによって、年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の2つの大会を受託事業として開催した。

ア) ぐんまねんりんピック2019（県長寿社会づくり財団からの受託）

スポーツや文化活動を通じて、高齢者の健康の保持増進と交流を図り、県民総スポーツの輪を広げるとともに、生きがいづくりを進め、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを推進した。

期 日 令和元年10月24日（木）

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場

対 象 県内在住の昭和36年 4月 1日以前に生まれた人で、大会参加に支障のない健康な者

種 目 ゲートボール、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、ソフトバレーボール、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マーじゃん

参加者数 1,876人

イ) 群馬県障害者スポーツ大会2019（県障害者スポーツ協会からの受託）

障がい者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障がい者スポーツの発展を図るとともに、県民の障がい者に対する正しい理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加を促進した。

期 日 令和元年 9月22日（日）・29日（日）

会 場 県立ふれあいスポーツプラザ

対 象 小学校1年生以上の身体障がい者・知的障がい者

種 目 陸上、デモンストレーション・水泳

参加者数 陸上、デモンストレーション 777人・水泳 133人

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業

現代の生活環境では運動不足や食生活の変化、日常生活のストレスの増加により生活習慣病などの問題を抱える人が増えている。そのため、県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上が図れるよう「県民体力づくり相談事業」として、県民のスポーツニーズ（レベル）に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施した。

ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日本スポーツ協会公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医科学的な検査を行った。さらに、栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が、個々の食生活についてアドバイス・指導を行った。これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導することで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートを実施した。

○県民へのメディカルチェック・体力測定等の実績

測定の種類等	実施日数	測定者数	一 般	競技者
健康・体力測定	15日	98人	2人	96人
新体力測定	14日	465人	425人	40人
体力測定	10日	47人	0人	47人
筋力測定	9日	131人	0人	131人
最大酸素摂取量測定	7日	7人	2人	5人
合 計	55日	748人	429人	319人

イ) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム予防のための運動指導

企業や高齢者団体に対して体力測定を積極的に行い、日常生活の中で身体活動をより一層取り入れ、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防を図り、健康・体力の保持増進が図られるよう運動指導を行った。

・出張新体力測定 年4回 延参加者 166人

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業

県民が生涯にわたり、安全で効果的にスポーツを行うことができるよう、薬物に対する意識を高め、スポーツ障（傷）害への対処方法等を指導し、健康状態に応じたスポーツを行うことができるよう下記事業を実施した。

ア) アンチ・ドーピング推進活動事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物使用・誤用への認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施した。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体結団式での選手・監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努めた。

○アンチ・ドーピング指導

期 日 令和元年 8月20日（火）・8月30日（金）・9月19日（木）

令和 2年 1月 4日（土）・1月22日（水）

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター

対 象 国民体育大会 本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障（傷）害の予防や、効果的に競技力向上が達成できるように、日本スポーツ協会公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施した。また、県内のスポーツドクターの資質向上を図るため、スポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、スポーツドクター会員の定期的研修会の開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施し公認スポーツドクターの活動の充実を図った。

○スポーツドクター研修会

期 日 平成31年 4月20日（土）

会 場 群馬大学医学部附属病院 アメニティー講義室

参加者数 141人

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナー養成講習会を実施した。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 令和元年11月14日（木）・15日（金）

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター

参加者数 8人

エ) スポーツ医事相談事業

健康の保持増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防等について、電話等により相談を受けて、県内の公認スポーツドクター医療機関を紹介した。また、スポーツ医科学に関する講演会を日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授、スポーツ医科学委員会等の協力のもと、各市町村11会場において、「スポーツ医科学講演会」を実施した。

No	市町村名	期 日	講 師	演 題	参加者数
1	富岡市	令和元年 7月 5日(金) 19時00分～21時00分	管理栄養士 野口 泰子	スポーツ栄養学～成長期に必要な食事の摂り方～	53人
2	邑楽町	令和元年 9月 7日(土) 17時30分～19時30分	堀江病院 理学療法士 丸山 広樹	スポーツ傷害予防のためのストレッチ講座・体幹トレーニング	104人
3	館林市	令和元年 9月18日(水) 19時00分～21時00分	群馬大学 非常勤講師 福地 豊樹	暴力やハラスメントのないスポーツ指導～グッドコーチになるために～	62人
4	前橋市	令和元年10月 9日(水)	高崎健康福祉大学保健	中高年のための体幹トレーニング	89人

		18時30分～20時30分	医療学部理学療法学科 中川 和昌		
5	藤岡市	令和元年10月18日(金) 19時00分～21時00分	ぐんまスポーツ整形外科 理学療法士 武井 健児	子どもから大人のための体幹トレーニング	114人
6	草津町	令和元年11月 6日(水) 18時00分～19時30分	群馬大学 非常勤講師 福地 豊樹	暴力やハラスメントのないスポーツ指導～グッドコーチになるために～	37人
7	長野原町	令和元年11月 6日(水) 19時00分～20時30分	管理栄養士 野口 泰子	スポーツと栄養	35人
8	高崎市	令和元年11月13日(水) 18時30分～20時30分	群馬弁護士会 石原 栄一	暴力やハラスメントのないスポーツ指導	111人
9	渋川市	令和元年11月28日(木) 19時00分～21時00分	上武大学 准教授 小野里 真弓	スポーツ指導におけるパワハラについて	82人
10	桐生市	令和元年12月19日(木) 19時00分～20時30分	榛名荘病院 整形外科 諏訪 通久	熱中症対策・処置	56人
11	中之条町	令和2年 2月 3日(月) 19時00分～21時00分	原町赤十字病院 理学療法士 唐沢 和彦	普段の生活からできる健康寿命増進のコツ	14人
11市町					757人

Ⅲ 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会において、本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与すると考える。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等の諸事業を実施した。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し、本県代表として派遣した。

イ) 激励活動

国民体育大会へ出場する本県選手団を県当局と連携し、激励した。

大会名及び事業名	期日	会場及び競技名
第74回国民体育大会 関東ブロック大会	令和元年 6月 9日 (日) ～12月 8日 (日)	千葉県下 カヌー競技ほか33競技 選手・監督 746人
〃 本大会会期前	令和元年 9月 7日 (土) ～ 9月16日 (月)	茨城県下 水泳競技ほか3競技 選手・監督 55人
〃 監督会議・結団式	令和元年 9月19日 (木)	ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐ んま武道館 〃 第1研修室
〃 本大会	令和元年 9月28日 (土) ～10月 8日 (火)	茨城県下 陸上競技ほか35競技 選手・監督 308人
第75回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	令和 2年 1月29日 (水) ～ 2月 2日 (日)	青森県 スケート・アイスホッケー競技 選手・監督 48人
〃 冬季大会スキー	令和 2年 2月16日 (日) ～ 2月19日 (水)	富山県 スキー競技 選手・監督 48人

ウ) 成 績

第74回国民体育大会成績

天皇杯 38位 (得点 789.5点) 皇后杯 21位 (得点 583.5点)

第75回国民体育大会冬季大会成績

天皇杯 6位 (得点 151.0点) 皇后杯 4位 (得点 84.0点)

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

県民が、スポーツを安全で、正しく、楽しくできるよう、指導・助言ができる公認スポーツ指導員の講習会を実施した。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等にあたる者を養成する事業であり、日本スポーツ協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業及び独自事業として実施した。

また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題（指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント）について指導をした。

○公認コーチ1養成講習会（専門科目）

対象競技団体（委託） 実施なし

対象競技団体（独自） バレーボール競技
受講者数（独自） 23人

○公認コーチ2養成講習会（専門科目）
対象競技団体（委託） 実施なし

対象競技団体（独自） 実施なし

○公認コーチ2養成講習会（共通科目）
実施なし

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための研修会として開催するとともに、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導場面で実践できるような資質を向上させることを目的として年2回実施した。

○第1回スポーツ指導者研修会

期 日 令和元年 8月 4日（日）

会 場 高崎健康福祉大学8号館206大講義室

演 題 講演Ⅰ：「指導者が知っておくべきスポーツ選手のメンタルケア方法」
講演Ⅱ：「救急・応急処置について」

参加者数 117人

○第2回スポーツ指導者研修会

期 日 令和 2年 2月 9日（日）

会 場 高崎健康福祉大学8号館206大講義室

演 題 講演Ⅰ：「アスレティックトレーナーの役割と任務について」
講演Ⅱ：「女性アスリートの体調管理」

参加者数 122人

ウ) スポーツ指導者協議会育成事業

県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が共通認識を持ち、資質向上及び指導力向上を図ることを目的とした群馬県スポーツ指導者協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である指導者の育成に繋がると考えることからその運営に対し支援、助成をした。

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

本県が高い水準で安定した競技力を確保し、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、競技力向上の推進を図った。各事業別の補助金執行状況は競技力向上対策費補助金執行状況明細（別表）のとおりである。

ア) 団体対策推進事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校スポーツ団体の強化体制や強化組織の育成と、競技力の向上を図るために団体対策費として、各競技団体に補助金を交付し、内訳は競技力向上対策費補助金一覧表（別表）のとおりである。

- ①競技団体強化事業（国体正式競技団体）
- ②高体連強化事業（県高等学校体育連盟）
- ③中体連強化事業（県中学校体育連盟）
- ④関東ブロック突破等対策プロジェクト事業
（国体正式競技団体、県高等学校体育連盟）

イ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

本県競技力水準の一層の向上を図るため、体力・運動能力に優れたジュニア選手を早期に発掘し、適正な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、日本、世界へ通用するトップレベルの選手の育成を目指し、事業を実施した。

・実施競技及び人数

スキー競技24人・陸上競技24人・水泳競技19人・空手道競技34人・ボウリング競技26人・ゴルフ競技30人・スケート競技18人・レスリング競技18人・馬術競技26人・自転車競技20人・ボクシング競技5人・山岳競技10人 合計254人

・選考会

期 日 令和元年 5月26日（日）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナ
参加者数 121人

・認定式

期 日 令和元年 6月22日（土）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館 第1道場
認定者数 87人

・研修会

期 日 令和元年11月30日（土）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館 大道場
参加者数 162人

ウ) 拠点施設活用事業

公共スポーツ施設を活動拠点として、ジュニア育成等を中心とした競技スポーツクラブへ経費の一部を補助し、全国トップクラスの競技者の育成を目的とし、事業を実施した。

団体名	拠点施設名	団体名	拠点施設名
県スケート連盟	ALSOKぐんま総合スポーツセンター、県総合スポーツセンター伊香保リンク	県アイスホッケー連盟	ALSOKぐんま総合スポーツセンターアイスアリーナ、県総合スポーツセンター伊香保リンク
県スキー連盟	尾瀬武尊高原スポーツパークロスカントリーコース	群馬陸上競技協会	県立敷島公園補助競技場
県水泳連盟	県立敷島公園水泳場	県ホッケー協会	みなかみ町月夜野緑地施設内運動広場
県ボクシング連盟	安中市体育館、伊勢崎工業高校ボクシングジム、高崎工業高校ボクシングジム	県レスリング協会	明和中学校武道場
県ソフトテニス連盟	ALSOKぐんま総合スポーツセンターテニスコート、高崎市群馬テニスコート	県弓道連盟	伊勢崎市あずま弓道場、太田市運動公園弓道場、ALSOKぐんま総合スポーツセンター弓道場
県ラグビーフットボール協会	下豊岡グラウンド、八千代グラウンド、島村グラウンド	県カヌー協会	桃の木川カヌー艇庫
県アーチェリー協会	ALSOKぐんま総合スポーツセンター仮設アーチェリー場、ヤマト前橋市民体育館		

エ) ジュニア指導者派遣事業

ジュニア選手等の活動場所である運動部やクラブへ、情熱ある専門的指導者を派遣し、タレントの発掘・育成等を行い、一貫した指導体制のもと全国トップレベルのジュニア選手を育成することを目的とし、事業を実施した。

団体名	活動場所	指導種目	指導者名
県スケート連盟	嬬恋高校	スケート	阿部 友香
県スキー連盟	片品村	スキー	飯塚 剛
群馬陸上競技協会	前橋育英高校他	陸上（投擲）	高橋 輝
県サッカー協会	前橋商業高校他	サッカー	澤田 博之

オ) 一貫指導構築事業

全国・世界に通用する群馬県トップレベルの選手育成を目的に、各競技ごとの一貫指導体制を構築し、本県の競技力向上を図った。

実施競技団体名		
県ホッケー協会	県体操協会	県ラグビーフットボール協会
県バレーボール協会	県バドミントン協会	県ボウリング連盟

カ) 中学生特別強化事業

県中学校体育連盟に競技部が設置されていない競技団体（県中学校体育連盟準加盟競技部の競技団体を含む）を対象として、積極的にジュニア強化対策を推進している競技団体に対してジュニア強化事業費を補助し、全国トップレベルのジュニア選手を育成することを目的とし、事業を実施した。

実施競技団体名		
県テニス協会	県レスリング協会	県ラグビーフットボール協会
県空手道連盟	県なぎなた連盟	県ボウリング連盟
県トライアスロン協会		

キ) マネジメントコーチ推進事業

各競技団体にマネジメントコーチを適正に配置し、全国・世界レベルの競技者を育成する。また、各競技団体の組織体制を整備し、競技力向上対策の企画と推進により競技力の向上を図った。

○委嘱式

期 日 平成31年 4月 6日(土)
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
 委嘱者数 40人

○検討会議

期 日 令和 2年 2月 8日(土)
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
 参加者数 20人

ク) スポーツセミナー

各競技団体、学校スポーツ団体並びに地域団体の中心的役割を果たしている指導者を対象に、指導力向上研修、スポーツ医科学研修等、実習を含めたスポーツセミナーを実施し、指導者の資質向上を図った。

期 日 令和元年12月 7日(土)
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
 演 題 「コア・トレーニング及びスポーツコミュニケーション」
 参加者数 148人

ケ) 優秀指導者育成事業

県内の指導者を対象とした中央指導者招聘研修会及び全国の優秀指導者が指導する現場での研修により、本県各競技団体指導者の育成・資質向上を図った。

実施団体名			
県アイスホッケー連盟	県ハンドボール協会	県アーチェリー協会	県スキー連盟
県自転車競技連盟	県ボウリング連盟	県サッカー協会	県ソフトテニス連盟
県高等学校体育連盟	県テニス協会	県バドミントン協会	県中学校体育連盟
県体操協会	県弓道連盟	県レスリング協会	県カヌー協会

コ) 全国等競技力分析事業

国民体育大会本大会や冬季大会、関東ブロック大会の開催地に、選手強化委員や支援スタッフを派遣することにより、全国等の競技レベルを分析し、本県の競技力レベルの向上に役立てた。

大会名	選手強化委員	支援スタッフ
国体関東ブロック大会	1人	9人
国体本大会	2人	14人

国体スケート・アイスホッケー競技会	0人	2人
国体スキー競技会	0人	1人
合 計	3人	26人

サ) 強化指定事業

国民体育大会において、優秀な成績を収めるため、競技団体・中体連・高体連・企業体等と連携を図りながら競技力向上を目指し、中学校・高等学校及び企業体等の優秀選手（運動部）を指定し、重点的強化事業の推進を図った。

令和元年度群馬県強化指定選手・運動部（冬季競技） 39名
 令和元年度群馬県強化指定選手・運動部（本大会競技） 178名 4部

シ) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究を実施し、強化現場にフィードバックを行った。

○本協会強化指定選手等のメディカルチェック・体力測定のフィードバックの実施

測定の種類等	実施日数	測定者数	成 年	少 年
健康・体力測定	16日	205人	24人	181人
体力測定	6日	16人	0人	16人
筋力測定	20日	220人	24人	196人
最大酸素摂取量測定	7日	21人	0人	21人
合 計	49日	462人	48人	414人

ス) ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

○アスリートサポート事業

オリンピック・パラリンピックや国際大会で本県選手が活躍してもらうため、アスリートを支えるトレーナー等に係わる経費の補助並びに、合宿や遠征費用等を補助した。

認定選手 20名

競 技 名	認 定 選 手 数	競 技 名	認 定 選 手 数
スキー	2人	ラグビーフットボール	2人
陸上	2人	空手道	2人
水泳	2人	トライアスロン	2人
レスリング	1人	パラリンピック陸上	1人
ウエイトリフティング	1人	パラリンピック水泳	1人
ハンドボール	2人	ソフトボール	2人

○ドリームロード事業

中学生アスリート及びその指導者を強化指定し、競技力向上の意識を高めた。

認定選手 14名

競 技 名		
スケート	バレーボール	柔道
スキー	体操（体操・新体操）	ソフトボール
陸上	バスケットボール	バドミントン
水泳（競泳）	ハンドボール	トライアスロン
ボクシング	卓球	

認定指導者 13名

競 技 名		
スケート	バレーボール	柔道
スキー	体操（体操）	ソフトボール
陸上	バスケットボール	バドミントン
水泳（競泳）	ハンドボール	
ボクシング	卓球	

（２）目指せ！未来のアスリート わくわく運動プロジェクト事業

2028国民体育大会・全国障害者スポーツ大会で活躍が期待される世代の子ども及びその家族を主な対象として、スポーツに親しむファミリーを増やし、「する・みる・支える」といった県民のスポーツ活動を更に豊かなものにするため、親子スポーツ教室や様々な運動体験を実施した。

《第1回》

期 日 令和元年10月27日（日）
会 場 県立敷島公園水泳場
内 容 ①わくわく運動体験
体験種目：カヌー、アーティスティクスイミング、トライアスロン、飛込水球
参加者数 子ども 71人

《第2回》

期 日 令和元年11月23日（土・祝）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナ・サブアリーナ・ぐんま武道館
内 容 ①親子スポーツ教室
講 師 秋田 豊 氏
②わくわく運動体験
体験種目：サッカー、ホッケー、テニス、卓球、バレーボール、ラグビーボクシング、フェンシング、自転車、スポーツクライミング、スキー、ウェイトリフティング、器械体操、ボウリング、空手道、車椅子バスケットボール、フライングディスク、軽スポーツ、体力測定
参加者数 子ども 1,011人

《第3回》

期 日 令和元年11月24日（日）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナ・サブアリーナ・ぐんま武道館
内 容 ①親子スポーツ教室
スポーツリズムトレーニング協会
②わくわく運動体験
体験種目：サッカー、アイスホッケー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、3×3バスケットボール、ボクシング、スケートレスリング、アーチェリー、スポーツクライミング、新体操、ウェイトリフティング、銃剣道、空手道、車椅子スラローム、ボッチャ、軽スポーツ、体力測定
参加者数 子ども 946人

10 競技力向上支援に関する事業

(1) オリンピック・パラリンピック選手支援事業

オリンピックや世界大会等において活躍が期待できるが、活動費等が十分でない現役トップアスリートを支援し、本県スポーツの競技力向上を図った。

なお、活動支援の財源は協力企業からの寄付金とした。

支援選手名	競技名	主な成績
倉林 巧和	自転車	2019年アジア選手権大会トラック大会インディビジュアルパシュート1位
宮澤 拓哉	ボウリング	世界選手権大会2017男子ダブルス 3位

(2) ぐんまのスポーツ環境整備支援事業

2028年2巡目ぐんま国体の開催が決定し、本県スポーツ選手の発掘及び育成の観点から加盟競技スポーツ団体のスポーツ環境整備を支援し、競技力向上を図る支援をした。

競技団体	内容
県スキー連盟	コンバットポール 60本
群馬陸上競技協会	フラットボード(3台) フレキハードルミニ(20台) メディシンボール2キロ(10個) メディシンボール3キロ(10個) ターボジャブ(8個) ジャベボール(19個)
県水泳連盟	スタート台(2台) バックストロークレッジ(2台)
県バレーボール協会	バレーボールネット(8個) バレーアンテナセット(8個)
県剣道連盟	試合用得点板(6台)

(3) 大会等支援事業

各種大会の開催及び海外派遣選手に対し支援することで、県民のスポーツへの興味関心を高め、スポーツの底辺拡大を図った。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会（オリンピック・世界選手権・アジア大会等）に参加することは、県民へのスポーツの興味関心を高めるとともに夢と感動を与えることから、海外競技会に参加する選手等に対し、壮行金を交付した。

大会名	交付者数
世界選手権出場者	3人
その他の国際競技大会等出場	26人

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会のために補助金を交付し児童のスポーツ普及・育成を図った。

また、県小学校体育研究会のスポーツ指導の資質向上を目的とした研修会等についても支援した。

○第49回小学校水泳教室記録会

期 日 令和元年 8月 8日 (木)

会 場 県立敷島公園水泳場

参加者数 902人

○第48回小学校陸上教室記録会

期 日 令和元年10月28日（月）
 会 場 正田醤油スタジアム群馬
 参加者数 1,606人

○第11回群馬県小学校体育学習研修会

期 日 令和元年 7月24日（水）
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ
 内 容 研修Ⅰ（講 演）「新学習指導要領を踏まえた体育の授業づくり」
 ～子どもたちが意欲的に取り組める授業づくりのヒント～
 研修Ⅱ（実技研修）「ダンスの作り方講習会」
 「子どもが夢中になる表現運動の授業を目指して」
 「ボール運動『ゴール型』ハンドボール授業研究会」

参加者数 290人

ウ) 県民スポーツ大会補助事業

県民を対象に開催している県民スポーツ大会の実施競技団体に補助金を交付し大会の支援を行った。

大会名	期 日	会 場	成績及び人数
夏季大会 (水泳)	令和元年 8月18日(日)	県立敷島公園水泳場	優 勝 高崎市 参加者数 522人
秋季大会 (21競技)	令和元年11月 3日(日) ・10日(日)	ALSOKぐんま総合スポーツ センター 他18会場	市の部優勝 高崎市 郡の部優勝 邑楽郡 参加者数 6,375人
100km 駅伝 競走大会	令和2年 1月26日(日)	正田醤油スタジアム群馬を 発着点とする全長92.6km	優 勝 高崎市 参加者数 755人
冬季大会 (スケート)	令和2年 2月 1日(土)	県総合スポーツセンター 伊香保リンク	優 勝 渋川市 参加者数 397人
冬季大会 (スキー)	令和2年 2月16日(日)	丸沼高原スキー場	優 勝 高崎市 参加者数 625人

(4) スポーツ顕彰事業

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え、競技力の向上とスポーツの振興及び郷土意識の高揚に資することを目的に下記の表彰を行った。

○群馬県スポーツ協会長賞表彰

期 日 令和2年 2月22日（土）
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
 受賞者数 スポーツ功労者賞 47人
 最優秀指導者賞 25人
 最優秀選手賞 113人
 優秀選手賞 233人
 ジュニアスポーツ奨励賞 162人
 合 計 580人
 感謝状 18団体

IV 本協会の運営

1 理事会等の運営

	会 議 等 名	期 日	議 事 等
理 事 会 評 議 会	第30回理事会（通常）	令和元年 5月28日（火）	平成30年度事業報告及び決算、理事及び監事候補者、委員会委員候補者、第16回評議委員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
	第31回理事会（臨時）	令和元年 6月13日（木）	会長、副会長、理事長及び業務執行理事の選定、委員会委員の承認、群馬県スポーツ少年団本部長及び副本部長の承認
	第32回理事会（臨時）	令和元年 8月30日（金）	第17回評議員会（決議等の省略）の招集（決議の省略）
	第33回理事会（臨時）	令和元年 9月21日（土）	副会長の選任（決議の省略）
	第34回理事会（臨時）	令和 2年 1月21日（火）	2019年群馬県スポーツ協会会長賞の選考、組織規程の改正
	第35回理事会（通常）	令和 2年 3月 5日（木）	令和2年度事業計画・収支予算及び評議員候補者、諸規程の制定及び廃止、加盟、第18回評議員会（決議等の省略）の招集
	第16回評議員会（定時）	令和元年 6月13日（木）	平成30年度事業報告及び決算、評議員の選任、任期満了に伴う理事及び監事の選任
	第17回評議員会（臨時）	令和元年 9月12日（木）	理事の選任（決議の省略）
	第18回評議員会（臨時）	令和 2年 3月26日（木）	令和 2年度事業計画及び収支予算、評議員の選任（決議の省略）
委	総務委員会	令和元年 5月22日（水）	平成30年度事業報告及び決算、理事及び監事候補者、委員会委員候補者、群馬県生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰の候補者推薦
		令和 2年 1月21日（火）	2019年群馬県スポーツ協会会長賞の選考、組織規程の改正
		令和 2年 3月 3日（火）	令和2年度事業計画・収支予算及び評議員候補者、諸規程の制定及び廃止、加盟申請
	生涯スポーツ推進委員会	令和元年 7月18日（木）	県民スポーツ大会の交付金等・日ス協公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦
		令和 2年 2月27日（木）	令和2年度 生涯スポーツ関連事業
	選手強化委員会	平成31年 4月13日（土）	平成31年度競技力向上対策費団体対策推進事業費、ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業選手指導者選考、平成31年度強化指定選手及び運動部（冬季競技）等
		令和元年 7月 5日（金）	第74回国体本大会等支援スタッフ、国体に

員 会			向けての激励計画等
		令和元年 9月 6日 (金)	令和元年度強化指定選手及び運動部等
		令和元年11月 1日 (金)	令和元年度強化指定選手の追加等
	選手強化委員会	令和 2年 2月 7日 (金)	ぐんまスーパーキッズ2020新規実施競技並びに実施継続期間等
		令和 2年 3月12日 (木)	令和2年度競技力向上対策費予算、競技力向上推進計画、競技力向上対策事業計画、令和2年度オリンピック・パラリンピック選手支援事業等
	国民体育大会推進委員会	令和元年 6月28日 (金)	令和元年度国民体育大会推進委員会予定、国民体育大会参加基準等
		令和元年 8月20日 (火)	第74回国民体育大会本大会選手団第1次選考等
		令和元年 8月30日 (金)	第74回国民体育大会本大会選手団第2次選考等
		令和 2年 1月 4日 (土)	第75回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団選考等
		令和 2年 1月22日 (水)	第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団選考等
スポーツ医科学委員会	令和元年 7月10日 (水)	平成30年度事業報告・令和元・2年度委員、AT養成講習会等について	
	令和 2年 3月 4日 (水)	令和2年度事業計画等について	
諸 会 議 等	加盟競技団体等理事長・事務担当者・選手強化担当者合同会議	平成31年 4月19日 (金)	2019年度事業計画及び予算、その他諸事業について
	監事監査	令和元年 5月15日 (水)	平成30年度事業報告及び決算に係る会計監査
	第74回国民体育大会本大会競技力検討会議	令和元年11月13日 (水)	第74回国民体育大会の勝因と敗因、第75回国民体育大会に向けての強化計画 第83回国民体育大会を見据えての強化計画
		14日 (木)	
		15日 (金)	
19日 (火)			
20日 (水)			
21日 (木)			
26日 (火)			
令和元年度競技団体別選手強化担当者会議	令和 2年 3月 4日 (水)	令和元年度競技力調査	
第75回国民体育大会冬季大会競技力検討会議	令和 2年 3月 6日 (金)	新型コロナウイルス感染症予防および拡散防止のため中止	

2 事務局の運営

(1) 加盟団体及び群馬県との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

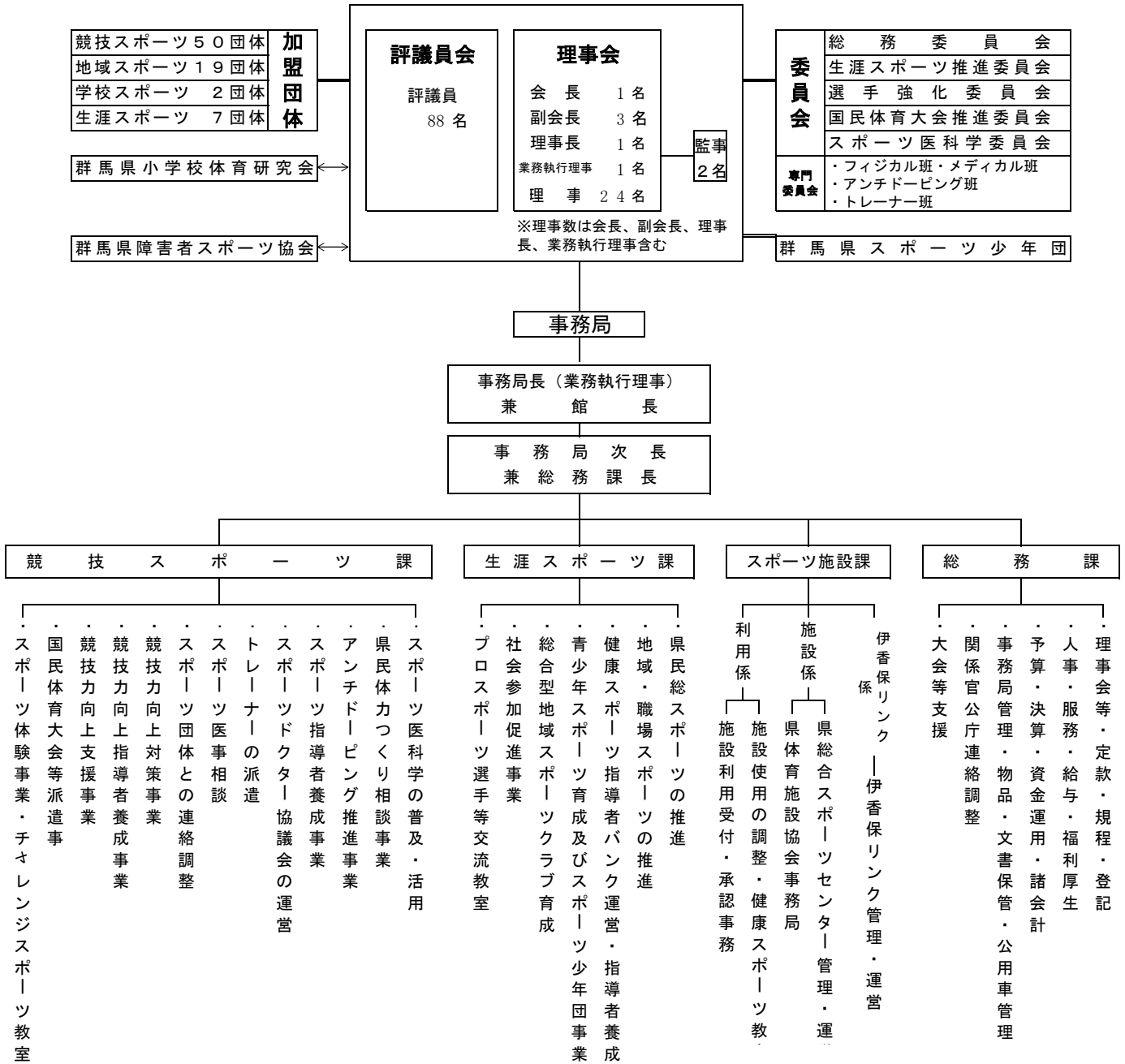
ア) 賛助会員の募集実績
73件 1,060,000円

イ) オリンピック・パラリンピックに向けての選手競技力向上事業における寄付金の募集実績
16件 1,980,000円

ウ) ぐんまのスポーツ環境整備等支援事業における寄付金の募集実績
2件 2,000,000円

公益財団法人群馬県スポーツ協会 組織図

令和2年3月31日現在



区分	プロパー職員	常勤役員	専門員	嘱託職員	臨時職員	計
事務局長		1				1
次長	1 ※兼務					0
総務課	4				2	6
スポーツ施設課 (伊香保リンク)	6 (2)			20 (5)	2	28 (7)
生涯スポーツ課	3			1		4
競技スポーツ課	6			2	1	9
合計	19	1	0	23	5	48